



津山地域

Vol.01

学校再編だより

登米市教育委員会学校再編推進室

令和元年6月発行

TEL : 0220-34-2670

FAX : 0220-34-2504

Mail: gakkousaihen@city.tome.miyagi.jp

教育委員会では、これまで学校再編について、保護者や地域の皆様から座談会等を通して多くのご意見を頂いてまいりました。これらの意見等を踏まえながら、平成31年3月に「登米市立小中学校等再編構想」を策定し、今年度より、登米市の子供達のために学校再編の具体化について進めてまいります。

このお知らせは、登米市の学校再編についての検討状況等について、お知らせするためのものであり、今後も随時発行してまいります（市ホームページでもご覧いただけます。）。

学校再編に係る座談会を開催しました

5月15日から30日まで市内9町域で「学校再編に係る地域座談会」を開催しました。座談会には、小・中学校等の保護者や地域住民など合わせて236人が出席しました。

津山地域については、5月16日に津山老人福祉センターにて開催し、18人の方が出席しました。

座談会では、再編構想の内容や今後の学校再編の進め方について、保護者、地域住民の方それぞれの視点から多くの意見を頂きました。

今後は、地域ごとに「学校再編準備委員会」を設置し、「地域別再編実施計画」の策定を進めていきます。

座談会で寄せられた主な意見（津山地域分）

Q 小中一貫校とする考えはないのか。

A 小中一貫校にした場合でも、中学校の学校規模は改善されず、免許外指導、部活動等の学校活動の制約といった課題が残されてしまう。単学級の中学校を地域に残すための小中一貫校の導入は考えていない。

Q いじめや不登校への対応について、登米市の不登校の状況は、県内でもワーストクラスだったと記憶しているが、現状を考えたときに、この問題を解消することができるのか。

A 保護者アンケートでもいじめや不登校への対応が要望として多くあげられており、不安があることは承知している。いじめや不登校の対策は、学校再編にかかわらず取り組むべき重要課題と捉えている。再編に当たっては、統合前に学校間での事前交流など、児童・生徒の不安を和らげるような取り組みを実施する。統合後は、教員補助員の配置、相談体制の充実についても配慮していく。

Q 中学校の再編を先に進めて欲しい。

A 学校再編を検討するきっかけとなったのは、少子化による児童生徒数の減少であり、その影響がより大きかったのが小学校だったので、まずは小学校から進めることとした。しかし、今後実施計画をする過程で、中学校の再編が必要と判断する場合は、地域の意見も踏まえた上で検討を行うものとする。

Q 学校再編を進める上での要望だが、学校再編はあくまで子供たちの生活、学びの場にとって最良のものであって欲しい。

A 教育委員会でも、魅力ある教育環境づくり、子供が楽しく学校生活を送れることを一番に考え、再編を進めていきたい。

学校再編の詳細は、市ホームページに掲載しています。

URL (<https://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kosodate/kyoikuinkai/saihensebi/index.html>)

※ 右のQRコードからもアクセスできます。



学校再編準備委員会の設置について

教育委員会は、各地域の実情を踏まえた学校再編を進めるため、各地域に学校再編準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置します。

● 委員の構成

- 1 小中学校児童生徒の保護者の代表者
- 2 学校運営協議会の代表者
- 3 行政区長会等の代表者
- 4 未就学児の保護者の代表者

※ 広く意見を頂くために委員以外の方にも準備委員会への出席をお願いすることがあります。

● 活動内容

準備委員会では、「地域別再編実施計画」策定のために、次の事項について検討し、教育委員会と合意形成を図っていきます。

- 1 統合の実施
- 2 再編新校の位置
- 3 統合の時期
- 4 通学支援
- 5 その他必要事項

● 設置時期

前期計画の地域（東和、米山、南方、津山）は、今後、順次設置を行います。後期計画の地域（迫、登米、中田、豊里、石越）は、現段階ではまだ先の取り組みになりますが、前期計画の地域の進捗状況によっては設置時期が早まる可能性があります。



学校再編の進め方（概要図）

